

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2015-55393(P2015-55393A)
 【公開日】平成27年3月23日(2015.3.23)
 【年通号数】公開・登録公報2015-019
 【出願番号】特願2013-188288(P2013-188288)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 S
 F 2 4 F 11/02 1 0 2 H
 F 2 4 F 11/02 1 0 3 A

【手続補正書】
 【提出日】平成27年7月21日(2015.7.21)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項1】

室内の人体の位置を検出する人体検出部と、
室内の放射熱を検出する温度検出部と、を備え、
前記温度検出部は前記人体検出部で検出した人体の位置から所定の距離離れた位置の温度を検出し、前記温度に基づいて空調制御をおこなう空調制御部とを備えた
 ことを特徴とする空気調和機。

【請求項2】

空調する室内の撮像画像を取得する撮像部と、
 前記撮像画像と略同一の範囲の放射熱を検知して温度分布画像を取得する温度検出部と、
 を備え、
 前記撮像画像を基に所定の画像処理がおこなわれて特定の画像位置が算定され、前記温度分布画像において前記画像位置に対応する位置の温度を制御温度とし、前記制御温度に応じて空調制御がおこなわれる
 ことを特徴とする空気調和機。

【請求項3】

空調する室内の撮像画像を取得する撮像部と、
 前記撮像画像と略同一の範囲の放射熱を検知して温度分布画像を取得する温度検出部と、
 を備え、
 前記撮像画像を基に顔検出処理がおこなわれて顔位置が算定され、前記温度分布画像において前記顔位置に対応する位置から所定の距離離れた位置の温度を制御温度とし、前記制御温度により空調制御がおこなわれる
 ことを特徴とする空気調和機。

【請求項4】

請求項3に記載の空気調和機において、
 前記顔位置から所定の距離離れた位置は、前記顔検出された人の着衣の位置に相当する位置である
 ことを特徴とする空気調和機。

【請求項 5】

請求項 3 または請求項 4 に記載の空気調和機において、
さらに、前記顔位置から顔検出した人が居る方向が算出され、前記温度情報と前記人の居る方向により空調制御がおこなわれることを特徴とする空気調和機。

【請求項 6】

空調する室内の撮像画像を取得する撮像部と、
前記撮像画像と略同一の範囲の放射熱を検知して温度分布画像を取得する温度検出部と、
を備え、
前記撮像画像を基に顔検出処理がおこなわれて複数人の顔位置が算定され、
複数人のそれぞれについて、前記温度分布画像において前記顔位置に対応する位置から所定の距離離れた位置の温度情報が取得され、
前記取得された温度情報の平均値を求めて空調制御温度とし、
前記取得された温度情報の最大値をもつ人の顔位置からその人が居る方向が算出され、
前記温度情報と前記人が居る方向により空調制御がおこなわれることを特徴とする空気調和機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明の空気調和機は、室内の人体の位置を検出する人体検出部と、室内の放射熱を検出する温度検出部と、を備え、
前記温度検出部は前記人体検出部で検出した人体の位置から所定の距離離れた位置の温度を検出し、前記温度に基づいて空調制御をおこなう空調制御部とを備えるようにした。